

レジメン名

mFOLFOX6

出典 エルプラット適正使用ガイド2021年4月改訂

実施部署区分

入院
 外来
 処置

対象疾患

小腸癌

進行・再発
 補助療法(術前・術後)

投与減量の基準

末梢神経障害	Grade3以上(8日間以上持続)		
上記基準を認めた場合、L-OHPを65mg/m ² に減量			
好中球	500/mm ³ 未満	PLT	50,000/mm ³ 未満
上記基準または、発熱性好中球減少症の発現、Grade3以上の消化器系の有害事象(予防的治療の施行にもかかわらず発現)を認めた場合、次回投与時、L-OHPを65mg/m ² に、5-FUを20%減量。			

1コース期間

14日

総コース数

PDまで

(次のコースまでの標準期間)

投与中止の基準

好中球	1,500/mm ³ 未満	PLT	75,000/mm ³ 未満
その他	末梢神経障害Grade3以上が当該コース中に消失しない場合:L-OHPを中止		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
オキサリプラチン(エルプラット)	85mg/m ²	5%TZ250mL	2時間	day1
レボホリナート	200mg/m ²	5%TZ250mL	2時間	day1
フルオロウラシル(急速静注)	400mg/m ²	NS50mL	全開	day1
フルオロウラシル(持続静注)	2,400mg/m ²	輸液適量	46時間	day1

1日投与順 (経時的にフレミテーション・ポストフレミテーション、 溶解液まで含む)
day1 ①生食20mL CVポートよりのルート確認用 ②アロキシ0.75mg/バッグ+デキサート6.6mg(15分) ③エルプラット85mg/m ² +5%糖液250mL(2時間) ④レボホリナート200mg/m ² +5%糖液250mL(エルプラットと同時に)(2時間) ⑤フルオロウラシル400mg/m ² +生食50mL(全開) ⑥生食50mL フラッシュ用 ⑦フルオロウラシル2,400mg/m ² +生食αmL 計100mL (インフューザーポンプ使用にて46時間で投与) <内服> day2及び3 デカドロン(4mg)1錠 分1朝食後